

11月
29日

ケーブルテレビでおなじみの「ちよるちよる体操」がリニューアル



11月29日（木）、健やかサロン「健やかスポンジテニスクラブ（一井喜美子代表・安岐町）」のメンバー7人に出演していただき、安岐保健センターで「ちよるちよる体操」のケーブルテレビ撮影が行われました。

市では、簡単にできる体操で介護予防に取り組んでもらおうと、ちよるちよる体操を作り、平成22年からケーブルテレビで1日2回（7時・15時）の放送を行っています。番組は市職員が出演していましたが、約3年が経過したためにリニューアルを企画したところ、

日頃から健康づくり活動に取り組んでいる同クラブの皆さんの協力をいただくことができました。この日は、寒さの厳しい日でしたが、そろいの半そでシャツに身を包み、2台のテレビカメラを前にリハーサルを含め4回の体操を行い、無事に撮影が終了しました。皆さんご協力ありがとうございました。

寒さに負けず、桜の花を夢見て植樹祭

12月
9日

千年以上前に田深川流域の谷が「桜吹雪く谷」と呼ばれていたという伝説を復活させようと、12月9日（日）、弥生のムラで、夢咲き桜の会（藤本加代子会長）主催の植樹祭が行われました。地元子どもたちや、豊崎地区、上国崎地区の皆さん、くにさき企業会、くにさきロータリークラブなどから約150人が参加し、河津桜約30本を弥生のムラ周辺に植樹しました。



植樹した桜は、国東市出身で東京都在住の日野隆さんが、昨年の300本に続いて、今回は400本を会へ寄贈したもので、残りは豊崎地区や上国崎地区で植樹されました。

雪がちらつく中の植樹祭となりましたが、参加者は用意された温かいだんご汁と、桜の花びらの塩漬けをのせた「夢咲き桜まんじゅう」で冷えた身体を温めました。

12月
15日

「CM大賞取るぞー」国高生が力作



前期生徒会の役員と生徒会担当の池田慶宗先生（右端）

OAB大分朝日放送の番組「大分ふるさとCM大賞」に出品するCMを、今年も国東高校の生徒が制作しました。30秒の手作りCMでふるさとの魅力を発信するもので、今回は、前期生徒会の役員5人が国東市をPRしました。

12月15日（土）、台本づくりや撮影イメージを事前に準備して臨んだ撮影では、佐藤直也前期会長が監督となり、他のメンバーも出演や音声、照明などさまざまな役割をこなしながら、空港や道の駅などで撮影を進めていきました。後日、市ケーブルテレビ職員の指導を受けながら編集作業も生徒の手で行いました。

なお、できあがったCMは、2月3日（日）に大分市のパークプレイス大分で、来場者を対象に一般審査が行われる予定です。

小原の安全 見守ります

12月
19日

12月19日（水）、国東町の小原地区公民館に、「小原地域見守りボランティア」看板と青色門灯が設置されました。これは、公民館を「見守り活動の拠点」としてもらおうと、国東警察署が設置したもので、ほかにもベストや帽子、懐中電灯が贈られました。



同地区では、地域の皆さんやPTA会員などで構成する「小原小学校見守りボランティア（宗義彦会長・35人）」の会員が、登下校時に通学路に立ち、声かけをするなど児童たちの安全確保に協力しています。

宗会長は「子どもの数の減少や高齢化などで、メンバーの確保が難しくなりつつありますが、小学生がいない家庭も含め地域が一体となり、この公民館を拠点に活動していきたいです」。山下徹校長は「下校時は少人数になる場合があるので、大人の目が光る見守りボランティアはとてありがたいです」と話しました。